

— カーレット（抜粹） —

参考資料：NPO法人カーレットジャパン協会・厚木市教育委員会

常総市社会福祉協議会

ルール要点 公式戦（3人対3人）で競技する場合のルールの要点を抜粋、説明します。

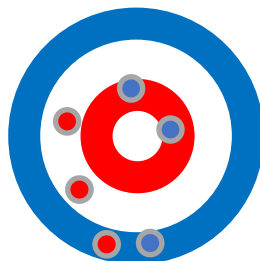
◆競技方法

1人が2個のストーンを持ち、1チーム3人ずつが対戦相手と交互に2投ずつ投球、1エンド合計12投します。

6人が投げ終わったあと、ハウス中心に一番近いストーンของทีมが勝ち、相手より中心に近いストーンの数点数になります（図1）。

8エンド行い合計点で勝敗を決めます。敗戦チームは必ず1エンド0点になります。

〈図1〉



青チーム 2点-0点 赤チーム

◆滑らせる

1. 的に向かってまっすぐ立つ（座る）。
2. 左手は台のはじの方へ置く。
3. 右手はストーンの上にあるつまみ部分を
 - ①人差し指と中指ではさむ
 - ②つまみ部分を3本指でつまむ（①か②どちらかやりやすい方で行ってください。）

力の出ない方は特例（※注1）で手を横にし、手首を使いますが、方向性が悪くなります。試合前に指導員に必ず申し出、指導を受けてください。

4. 上記の姿勢のまま、狙う方向にまっすぐ、2，3回モーションし投げます。

※注1 お子様や、力の出ない方の横投げは大変危険なので十分注意してください。必要以上にスピードが出てしまい、ストーンが飛び出してしまう恐れがあります。

◆アウト

アウトになったストーンはフロアから速やかに取り除きます。
取り除いたストーンは脇に置いてあるストーンボックスに置きます。

ホッグラインアウト

ホッグラインまで届かないストーンはアウトとなります。ただし、ラインに接触している場合はセーフとなります。

フリーガードゾーンアウト

1. フリーガードゾーンルールはそれぞれのチームの1人目が持っているストーン2投にのみ適用されるルールで、2人目、3人目には適用されません。
2. フリーガードゾーン内にある相手ストーンをプレーエリアから直接、間接に当ててアウトにすると、当てたストーンは元に戻します。自身のストーンに当たって出た場合も同じです。

フリーガードとは・・・

プレーエリア内のホッグラインからティーラインの間でハウスを入れた範囲を指します。

ストーンの転がり

投げたストーンが転がった場合はそのストーンはアウトになり速やかに取り除きます。当てられたストーンは元に戻します。

スカートからの跳ね返り

強く投げたストーンは、安全のために作られたスカート、セーフディッチで跳ね返って中に入ってくることがあります。跳ね返ったストーンはアウトでそのストーンが当たったストーンは元に戻します。

●エプロンの利用

エプロンを利用しストーンを反射させるさせる攻撃は、攻略法の広がり、高度なテクニックが身につくことになり、カーレットでは重要な要素になります。

※注2 カーレットはフェア精神で競技します。判定は相互のチームで決めます。どうしても判断がつかない場合は第三者、あるいは指導員から助言を得ること。

〈図2〉

